

乙訓歯科医師会から健康教室

Dental Association Otokuni

『歯医者さんに行きたいけれど』

再び新型コロナウイルスが脅威をふるっています。歯医者さんにはいきたくないけれど、新型コロナウイルスの感染リスクが高そうだから、やめたほうがいいんじゃないか?と不安に思っている方も多いと思います。でもそんなことはありません。今回は歯科医院へ行って感染リスクは高くない、ということについてお話ししたいと思います。

まず、歯科医院ではありません。新型コロナウイルスは、ウイルス以外にも多くのウイルスや細菌などへの感染を防ぐために、普段から予防策をしっかりと講じています。新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスやはしか、風し

んなど、私たちの身の回りには感染を引き起こす

可能性のあるウイルス、細菌などがたくさん存在していますし、歯科の治療を通じては、肝炎ウイルスの感染リスクが以前より指摘されています。ですので、歯科医院では、さまざまな対策をもとに行っているのです。例えば、手指の衛生を保つこと、防護具を着用すること、医療器材の洗浄・消毒などがそれにあたります。洗浄・消毒に際してはその作業工程を区域に分けて汚染が広がらないような細やかな配慮もしています。

このような「標準予防策」に加え、さらに新型コロナウイルスへの対策もしっかり行っています。

感染対策、普段からウイルス、細菌防ぐ

す。ほとんどの歯科医院の中では、待合室や治療室での人口密度をできる限り小さくし、さらには発熱など感染が疑われる患者さんの診療も避けるようにもしています。そうして、患者間での感染や、院内での感染拡大が起きないように、細心の注意を払っています。

ではなぜ、歯科医院は感染リスクが高いと言われるの? こうした言説が広がったのは、3月下旬から4月上旬にかけて、歯科医院では新型コロナウイルスの感染リスクが非常に高いという報道がいくつもあつたため、と思われる。

と、新型コロナウイルス感染予防の対策を講じています。歯科医師や歯科衛生士が最もリスクの高い職業であれば、明らかに日本でも歯科医師の多くが感染しているはずですが、そんなことはまったくありません。つまりそのこと自体、日本の歯科医院の感染対策が総じて効果的であることを示しているのです。しかしながら、歯科医院が危険な場所という誤解がすくみ、受診を控えるような空気になつているのはたいへん問題であると考えています。

今後、私たちは新型コロナウイルスとの共生を、そのためには、乙訓歯科医師会は感染防止対策を徹底して、診療を行っていく所存です。